

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2024年5月13日

【四半期会計期間】 第23期第2四半期(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

【会社名】 日本ファルコム株式会社

【英訳名】 NIHON FALCOM CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 近藤 季洋

【本店の所在の場所】 東京都立川市曙町二丁目8番18号

【電話番号】 042(527)0555

【事務連絡者氏名】 取締役 中野 貴司

【最寄りの連絡場所】 東京都立川市曙町二丁目8番18号

【電話番号】 042(527)0555

【事務連絡者氏名】 取締役 中野 貴司

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第22期 第2四半期累計期間	第23期 第2四半期累計期間	第22期
会計期間		自 2022年10月1日 至 2023年3月31日	自 2023年10月1日 至 2024年3月31日	自 2022年10月1日 至 2023年9月30日
売上高	(千円)	1,138,934	1,013,364	2,473,584
経常利益	(千円)	685,382	515,161	1,344,387
四半期(当期)純利益	(千円)	475,544	357,106	911,343
持分法を適用した場合の 投資利益	(千円)			
資本金	(千円)	164,130	164,130	164,130
発行済株式総数	(株)	10,280,000	10,280,000	10,280,000
純資産額	(千円)	9,096,787	9,684,038	9,532,527
総資産額	(千円)	9,397,118	10,037,685	10,128,316
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	46.26	34.74	88.65
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
1株当たり配当額	(円)			20
自己資本比率	(%)	96.8	96.5	94.1
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	606,197	700,443	903,616
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		435	5,580
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	204,567	204,780	204,850
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	8,609,855	9,396,638	8,901,410

回次		第22期 第2四半期会計期間	第23期 第2四半期会計期間
会計期間		自 2023年1月1日 至 2023年3月31日	自 2024年1月1日 至 2024年3月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	36.05	5.63

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。

2. 持分法を適用した場合の投資利益につきましては、関連会社が存在しないため記載しておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当第2四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当社はコンテンツメーカーとして、オリジナリティあふれるゲームコンテンツ及びサービスの創出を行い、その魅力を様々な分野・プラットフォームを通じて世界中のお客様にお伝えすることに努めております。

当第2四半期累計期間の製品部門におきましては、シリーズ生誕35周年記念タイトル「イース -NORDICS-(ノーディクス)」をPlayStation 5 / PlayStation 4 / Nintendo Switch向けに販売したほか、2023年10月には音楽アルバム「ADOL CHRISTIN ~イース生誕35周年音楽作品~」、2024年1月には「イース -NORDICS- オリジナルサウンドトラック」を発売しました。そして、Nintendo Switch自社参入タイトル第四弾「英雄伝説 黎(くる)の軌跡 for Nintendo Switch」を2024年2月に発売しました。

また、PlayStation 5 / PlayStation 4 向け「イース・メモワール-フェルガナの誓い-」を2024年5月に、Nintendo Switch自社参入タイトル第五弾「英雄伝説 黎の軌跡 for Nintendo Switch」及びPlayStation 5 / PlayStation 4 向け「英雄伝説 黎の軌跡 スーパープライス」「英雄伝説 黎の軌跡 -CRIMSON SiN- スーパープライス」を2024年7月に発売いたします。

なお、累計販売数750万本を超える「軌跡」シリーズ最新作「英雄伝説 界(かい)の軌跡-Farewell, 0 Zemuria-(フェアウェル オー ゼムリア)」を鋭意制作中です。その他「東京ザナドゥ」シリーズの新プロジェクトが進行しております。

その結果、製品部門の当第2四半期累計期間の売上高は134百万円(前年同期比69.6%増)となりました。

ライセンス部門におきましては、PlayStation 5 / PlayStation 4 / Nintendo Switch / PC・Steam向けに「イース -NORDICS-」繁体字中国語版及び韓国語版、PlayStation 5 / PlayStation 4 / Nintendo Switch / PC・Steam向けに「英雄伝説 創(はじまり)の軌跡」英語版、PlayStation 4 / Nintendo Switch / PC・Steam向けに「那由多(なゆた)の軌跡」英語版、「英雄伝説 零(ゼロ)の軌跡」英語版、「英雄伝説 碧(あお)の軌跡」英語版などを販売しました。そのほか、旧タイトルのPCゲーム英語版ダウンロード販売や、「イース -Lacrimosa of DANA-」「イース -Monstrum NOX-」「英雄伝説 閃(せん)の軌跡」「英雄伝説 閃の軌跡 -THE END OF SAGA-」「東京ザナドゥeX+(エクスプラス)」の英語版なども引き続き展開しております。

また、Nintendo Switch向け「英雄伝説 黎の軌跡 for Nintendo Switch」繁体字中国語版及び韓国語版、PlayStation 5 向け「英雄伝説 閃の軌跡 & 」英仏語版を2024年2月に発売しました。また、弊社タイトル海外翻訳版の契約を締結しております。

そして、PlayStation 5 / PlayStation 4 向け「イース・メモワール-フェルガナの誓い-」繁体字中国語版及び韓国語版を2024年5月に、PlayStation 5 / PlayStation 4 / Nintendo Switch / PC・Steam向け「英雄伝説 黎の軌跡」英語版を2024年7月に発売する予定です。

その他、「英雄伝説 界の軌跡-Farewell, 0 Zemuria-」の繁体字中国語版及び韓国語版や、PlayStation 5 / PlayStation 4 / Nintendo Switch / PC・Steam向け「イース -NORDICS-」英仏語版、PC・Steam向け「イース セルセタの樹海:改」繁体字中国語版及び韓国語版を展開する予定です。

その結果、ライセンス部門の当第2四半期累計期間の売上高は878百万円(前年同期比17.1%減)となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は1,013百万円(前年同期比11.0%減)、営業利益は505百万円(前年同期比28.2%減)、経常利益は515百万円(前年同期比24.8%減)、四半期純利益は357百万円(前年同期比24.9%減)となりました。

(2) 財務状態の分析

(総資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、主に現金及び預金が495百万円増加したことに対し、売掛金が612百万円減少したことにより10,037百万円（前事業年度末比0.9%減）となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、主に買掛金が97百万円減少したこと、未払法人税等が74百万円減少したことにより353百万円（前事業年度末比40.6%減）となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、配当金の支払い205百万円があったことに対し、四半期純利益を357百万円計上したことにより9,684百万円（前事業年度末比1.6%増）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して495百万円増加し、9,396百万円となりました。各キャッシュ・フローの主な状況は、次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は700百万円（前年同期は606百万円の増加）となりました。これは主として、売上債権の減少が645百万円、仕入債務の減少が97百万円、未払消費税等の減少が43百万円、税引前四半期純利益の計上が515百万円あったものの、法人税等の支払額が259百万円あったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は0百万円（前年同期はなし）でした。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は204百万円（前年同期は204百万円の減少）となりました。これは主に配当金の支払いによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期累計期間における研究開発費の総額は、283百万円であります。なお、当第2四半期累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	34,800,000
計	34,800,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2024年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (2024年5月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,280,000	10,280,000	東京証券取引所 (グロース)	単元株式数は100株でありま す。
計	10,280,000	10,280,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2024年1月1日～ 2024年3月31日		10,280,000		164,130		319,363

(5) 【大株主の状況】

2024年3月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所 有株式数の割合 (%)
株式会社日本ファルコムホールディングス	東京都立川市曙町2-8-18	4,160,000	40.46
加藤正幸	東京都日野市	1,150,000	11.18
加藤圭	東京都日野市	498,900	4.85
加藤翔	東京都日野市	495,000	4.81
五味大輔	長野県松本市	475,000	4.62
KOREA SECURITIES DEPOSITORY - SAMSUNG (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ 東京支店)	34-6, YEUIDO-DONG, YEONGDEUNGPO- GU, SEOUL, KOREA (東京都新宿区新宿6- 27-30)	418,800	4.07
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103 (常任代理人 株式会社みずほ銀 行)	P.O. BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U.S.A. (東京都港区2-15-1)	182,200	1.77
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NON TREATY CLIENTS ACCOUNT(常任代理人 香港 上海銀行東京支店)	50 BANK STREET CANARY WHARF LONDON E14 5NT, UK (東京都中央区日本橋3-11 -1)	173,524	1.68
石川三恵子	神奈川県相模原市南区	149,300	1.45
草野孝之	東京都八王子市	143,900	1.39
計		7,846,624	76.33

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2024年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,274,900	102,749	
単元未満株式	4,900		
発行済株式総数	10,280,000		
総株主の議決権		102,749	

【自己株式等】

2024年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 日本ファルコム株式会社	東京都立川市曙町2-8-18	200		200	0.00
計		200		200	0.00

(注) 上記のほか、単元未満自己株式96株を所有しております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における、役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間(2024年1月1日から2024年3月31日まで)及び第2四半期累計期間(2023年10月1日から2024年3月31日まで)に係る四半期財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,901,410	9,396,638
売掛金	1,024,216	411,272
製品	4,121	3,202
原材料	3,035	2,838
その他	20,653	21,030
流動資産合計	9,953,437	9,834,982
固定資産		
有形固定資産	49,432	44,485
無形固定資産	871	1,266
投資その他の資産	124,573	156,950
固定資産合計	174,878	202,702
資産合計	10,128,316	10,037,685
負債の部		
流動負債		
買掛金	107,495	10,205
未払法人税等	271,223	196,276
賞与引当金	27,750	13,500
その他	189,319	133,665
流動負債合計	595,788	353,646
負債合計	595,788	353,646
純資産の部		
株主資本		
資本金	164,130	164,130
資本剰余金	319,363	319,363
利益剰余金	9,049,393	9,200,905
自己株式	359	360
株主資本合計	9,532,527	9,684,038
純資産合計	9,532,527	9,684,038
負債純資産合計	10,128,316	10,037,685

(2) 【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自2023年10月1日 至2024年3月31日)
売上高	1,138,934	1,013,364
売上原価	19,394	44,364
売上総利益	1,119,540	968,999
販売費及び一般管理費	416,137	463,750
営業利益	703,402	505,248
営業外収益		
受取利息	41	45
為替差益	-	9,269
未払配当金除斥益	715	597
営業外収益合計	756	9,912
営業外費用		
為替差損	18,776	-
営業外費用合計	18,776	-
経常利益	685,382	515,161
税引前四半期純利益	685,382	515,161
法人税、住民税及び事業税	177,472	185,967
法人税等調整額	32,365	27,913
法人税等合計	209,837	158,054
四半期純利益	475,544	357,106

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	685,382	515,161
減価償却費	6,543	5,213
賞与引当金の増減額(は減少)	15,937	14,250
受取利息及び受取配当金	41	45
売上債権の増減額(は増加)	676,152	645,842
棚卸資産の増減額(は増加)	754	1,116
その他の資産の増減額(は増加)	49,354	4,840
仕入債務の増減額(は減少)	144,615	97,290
未払金の増減額(は減少)	47,923	43,028
未払消費税等の増減額(は減少)	56,061	43,711
その他の負債の増減額(は減少)	10,989	4,748
小計	1,042,401	959,419
利息及び配当金の受取額	41	45
法人税等の支払額	436,246	259,021
営業活動によるキャッシュ・フロー	606,197	700,443
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	-	435
投資活動によるキャッシュ・フロー	-	435
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	1
配当金の支払額	204,567	204,779
財務活動によるキャッシュ・フロー	204,567	204,780
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	401,629	495,227
現金及び現金同等物の期首残高	8,208,226	8,901,410
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,609,855	9,396,638

【注記事項】

(四半期損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費用及び金額は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期累計期間 (自 2022年10月 1 日 至 2023年 3 月31日)	当第 2 四半期累計期間 (自 2023年10月 1 日 至 2024年 3 月31日)
研究開発費	265,603千円	283,209千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期累計期間 (自 2022年10月 1 日 至 2023年 3 月31日)	当第 2 四半期累計期間 (自 2023年10月 1 日 至 2024年 3 月31日)
現金及び預金	8,609,855千円	9,396,638千円
現金及び現金同等物	8,609,855千円	9,396,638千円

(株主資本等関係)

前第 2 四半期累計期間(自 2022年10月 1 日 至 2023年 3 月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年12月15日 定時株主総会	普通株式	205,595	20	2022年 9 月30日	2022年12月16日	利益剰余金

(2) 基準日が当第 2 四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第 2 四半期累計期間(自 2023年10月 1 日 至 2024年 3 月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年12月15日 定時株主総会	普通株式	205,594	20	2023年 9 月30日	2023年12月18日	利益剰余金

(2) 基準日が当第 2 四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(有価証券関係)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

当社はデリバティブ取引を行っておりませんので、該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

当社は、ゲーム開発・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

当社は、ゲーム開発・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)			当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)		
	製品	ライセンス	合計	製品	ライセンス	合計
日本	77,279	307,176	384,456	131,289	319,264	450,554
アジア	513	191,522	192,036	918	11,383	12,301
北米・欧州	1,676	560,764	562,441	2,539	547,968	550,508
顧客との契約から生じる収益	79,470	1,059,464	1,138,934	134,747	878,616	1,013,364
その他の収益						
外部顧客への売上高	79,470	1,059,464	1,138,934	134,747	878,616	1,013,364

(注) 顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	46円26銭	34円74銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	475,544	357,106
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	475,544	357,106
普通株式の期中平均株式数(株)	10,279,751	10,279,705

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2024年5月13日

日本ファルコム株式会社
取締役会 御中

三優監査法人
東京事務所

指定社員
業務執行社員 公認会計士 鳥 井 仁

指定社員
業務執行社員 公認会計士 森 田 聡

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日本ファルコム株式会社の2023年10月1日から2024年9月30日までの第23期事業年度の第2四半期会計期間（2024年1月1日から2024年3月31日まで）及び第2四半期累計期間（2023年10月1日から2024年3月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、日本ファルコム株式会社の2024年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき四半期財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- 継続企業的前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と

認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業的前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 四半期財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。